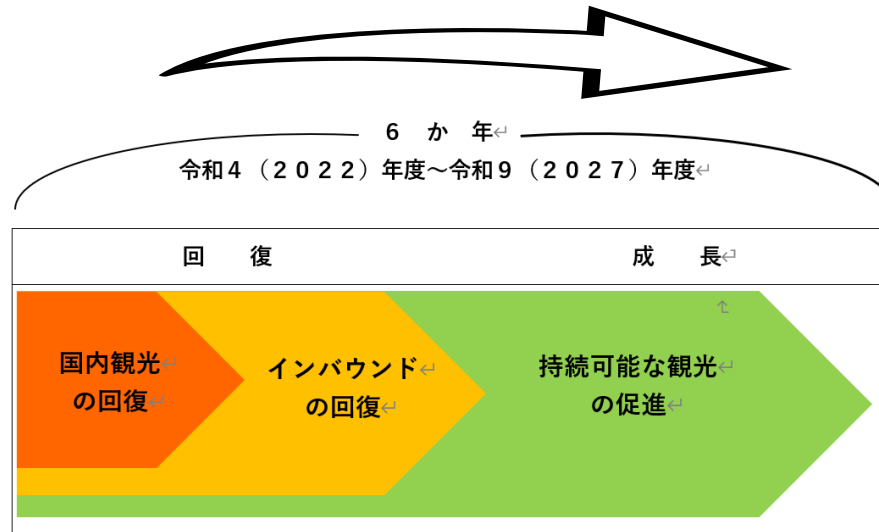


- 観光業界は長らく新型コロナの影響を大きく受けてきたが、2023年5月には新型コロナの感染法上の分類が「5類」に移行され、日本の観光地としての魅力度や円安、プロモーション等の要因も相まって、2023年の訪日外国人旅行者数は2019年比78.6%に達するなど、観光需要のV字回復が鮮明に表れている。
- 東京都の「PRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン」が2024年2月に新たに策定された。
→上記の状況を踏まえ、**ポストコロナにおける都内観光産業の成長及び持続可能な観光都市の実現に向けて、中期経営計画の改定を行う。**

▶2022年3月 策定時

- コロナ禍からの回復だけでなく、その先の成長を見据えた計画
- 計画期間は6か年
(令和4年度～令和9年度)
- 計画期間中であっても、社会情勢等の変化に応じて、柔軟に改定を行う



中期経営計画改定の主なポイント

▶2024年3月 一部改定

- 回復から成長のフェーズへ
- 「持続可能な観光」を、推進する6つの柱及び事業領域別の構想を包含する概念として位置づけ
- 新たな課題やトレンドを反映
(人手不足、DX、高付加価値化、DEI等)

▶推進する6つの柱

- [1] 観光経済の**復活**に向けた事業者支援と国内外におけるプロモーションの推進
- [2] 安全・安心に配慮した受入環境や快適な滞在環境の整備
- [3] 観光やビジネスイベントにおける新たな事業・サービスの創出
- [4] 持続可能（サステナブル）な観光やビジネスイベント開催等を通じたSDGsへの貢献
- [5] 地域にコミットした観光・ビジネスイベントの振興
- [6] 観光振興ネットワークの強化とさらなる発展

▶推進する6つの柱

- [1] 観光経済の**成長**に向けた事業者支援と国内外におけるプロモーションの推進
- [2] 安全・安心に配慮した受入環境や快適な滞在環境の整備
- [3] 観光やビジネスイベントにおける新たな事業・サービスの創出
- [4] 観光やビジネスイベント開催等を通じた**サステナビリティ**への貢献
- [5] 地域にコミットした観光・ビジネスイベントの振興
- [6] 観光振興ネットワークの強化とさらなる発展